

国際婦人デー集会に寄せられたメッセージ
在日本朝鮮民主女性同盟からのメッセージ

立ち上がって繋がり女性と子どもの権利勝ち取ろう！

在日本朝鮮民主女性同盟中央本部

国際女性デー東京集会に際し、連帯のあいさつをお送りいたします。

わたしたちは「いのちとくらし、平和を守り、女性解放のために粘り強く闘うみなさんに、心から敬意を表します。

在日本朝鮮民主女性同盟はこんにちまで戦争に反対し、平和と女性の権利拡大を求めて力強く闘うみなさんと連帯して運動を進めてまいりました。

一九四七年十月、在日同胞女性の意思と利益を代表する在日本朝鮮民主女性同盟が結成されたことによって、わたしたちの生活は大きく変わりました。

封建的家父長制度と植民地の下で二重三重の差別を受けていたわたしたちは、字を学び、権利に目覚め、差別に抗い、在日朝鮮女性として胸をはって生きてゆく道を歩むようになりました。

今年結成七六周年を迎える女性同盟は「輝かしい未来に向かって、同胞女性のために同胞女性とともに」を合言葉に北海道から九州まで広範な同胞女性が相互扶助の精神で集まり、権利を守り、多様な活動を推し進めています。

来る五月十九日には第一三回中央オモニ大会を東京で開催し、朝鮮学校をすべての同胞の知恵と力を結集し、守り発展させようと呼びかけています！

わたしたちが日本の地でこのように活動できるのも、日本の友人のみなさんのご理解、ご支援があつてのことです。

しかし、マスコミの対朝鮮バッシングが過熱する中で、朝鮮学校生徒らの「高校無償化」除外や地方自治体からの補助金停止、朝鮮幼稚園の「幼児教育保育無償化」からの除外問題など教育権が著しく侵害されています。この間、幼保無償化においては「新しい支援策」によりいくつかの自治体において補助金が支給されるに至りましたが「幼児教育保育無償化」の本体からは外されています。

さらにこの三年、コロナ感染拡大による命の危険の中で、さいたま市においてはコロナ感染予防策として行なったマスク配布の対象から埼玉朝鮮学園を除外する問題が発生しました。また、コロナパンデミック長期化から学生を救うはずの「学生支援緊急給付金」の対象からも今なお朝鮮大学校生が差別されるという事態が起きています。

一昨年七月、高校「無償化」裁判広島で最高裁の上告棄却により、全国五か所で行なわれた高校「無償化」裁判は不当にも敗訴となりました。弁護団は司法の判断を批判し、朝鮮学校を無償化の対象にしなかったことは、国が差別政策をとっていることの表われであるとしました。

また、朝鮮学校差別は国際人権条約の違反行為でもあり、決してゆるされることではありません。

わたしたちは決して諦めません！

国家の抑圧に対して反対世論を作り上げる社会運動として、東京の「金曜行動」、大阪の「火曜日行動」など各地で要請行動を行ない、日本の支援者とともに声を上げています。ソウルの日本大使館前でも朝鮮学校差別に反対し市民団体が毎週金曜日にスタンディングデモを行ないわたしたちの運動を応援しています。

現在、日本政府の重なる暴挙に対し、過去の清算を迫る運動や在日朝鮮人へのバッシン

グ中止を求める運動が、広範な平和運動団体、日朝友好団体により各地で行なわれています。

わたしたちは、朝鮮民主主義人民共和国への「制裁」の名の下に政府や自治体が行なう在日朝鮮人への民族教育権をはじめとする人権侵害が、日本における官製差別・ヘイト、排外主義の広まりと危惧するものです。

みなさん、今こそ戦争に反対し、平和な暮らし、女性と子どもの権利を守るために立ち上がって繋がり共に闘いましょう！

(『思想運動』1087号 2023年4月1日号)